



防災対策 情報便

| | |
|-----|---------------|
| 発行日 | 令和元年 8 月 30 日 |
| 発行元 | 災 害 対 策 課 |
| 所属長 | 課 長 馬淵 勉 |
| 電 話 | 06-6489-6165 |

1 津波等一時避難場所を追加指定します。

令和元年 9 月 1 日(日曜日)から、次の施設を津波等一時避難場所に追加指定します。

| 施設名 | 所在地 | 収容人数 |
|---------------------|--------------|-------|
| 尼崎医療生活協同組合 本田診療所 | 大庄西町 2-29-15 | 120 人 |

今回の施設の追加指定で、合計 361 施設 (361, 540 人) となります。

2 大阪880万人訓練実施に伴い、本市への影響が想定されます。

令和元年 9 月 5 日(木)に実施される「大阪880万人訓練」で大阪府が午前 11 時から屋外スピーカーによる放送を流し、午前 11 時 03 分頃に訓練用のエリアメール／緊急速報メールの送信を行います。

その後、時間をおいて大阪府内の各市町村からそれぞれの行政区域内に独自に送信する2段階送信を予定しています。

大阪府に隣接する本市の一部地域の皆様には、エリアメール／緊急速報メールの着信や、屋外スピーカーの音声が届くなどの影響を受ける可能性があります。本当の災害と間違わないようご注意ください。

訓練の詳細内容は、「大阪880万人訓練」のページをご覧ください。

「大阪880万人訓練」のホームページ

http://www.pref.osaka.lg.jp/shobobosai/trainig_top/

3 高潮浸水想定区域図(兵庫県)が公表されました。

兵庫県が作成した高潮浸水想定区域図が令和元年 8 月 2 日に県ホームページで公表されました。

平成 27 年 5 月に、水防法の一部が改正され、高潮により相当な損害を生ずるおそれがある海岸については、想定し得る最大規模の高潮による高潮浸水想定区域図を作成・公表する必要があることから、県では、想定し得る最大規模の高潮による浸水の危険性について、市民へ知らせるとともに、避難行動に資することを目的として、高潮浸水想定区域図を作成し、このたび、背後にゼロメートル地帯の市街地を有し、高潮に特に警戒すべき地域である大阪湾沿岸のうち、尼崎市、西宮市、芦屋市沿岸の高潮浸水想定区域図を作成したことから公表されました。

詳しくは下記の県ホームページをご確認ください。

○想定し得る最大規模の高潮による浸水想定区域図について (兵庫県)

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks17/takashioshinso/takashioshinso.html>

4 神戸地方気象台によるワークショップを実施しました。

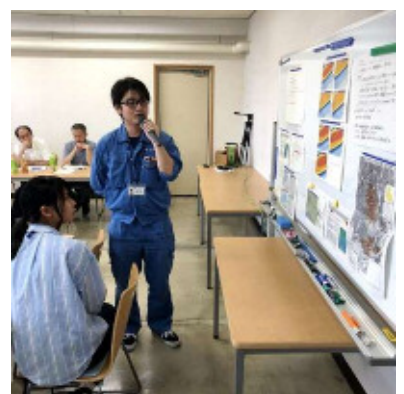
気象台との連携強化や職員の災害対応力向上を目的に、庄下川をモデルとした気象防災ワークショップを実施しました。

(想定)

昨日まで雨が降り、河川の水位は少し高い状況で、明日の明け方から再び雨が強まり大雨となる予想で体制などを考える中、予想に反して昼前から降水が強まり大雨となる。特に北側、伊丹市付近で降水が強まり河川の水位が上昇。

この想定の下、今後の対応を検討するため、3グループに分けて実施。それぞれ3つの場面に対して、検討課題を提示し、グループ討論後、発表を行い、神戸地方気象台から課題の考え方について解説をいただきました。また、ワークショップの最後には、それぞれ振り返りを行い、意見を共有した後に対策の検討を行いました。

今回のワークショップは、兵庫県下では初めての気象防災ワークショップとして、気象防災アドバイザーの方が4名見学されたほか、特に具体的な実際の河川を対象とした気象台のワークショップとしては類似例が少ない取り組みとして実施されました。



5 今年度も気仙沼市へ職員を派遣しています。

令和元年8月31日現在の派遣状況

建設部都市計画課土地区画整理室：1名（土木職）

ガス水道部施設整備課：1名（土木職）

派遣期間・・・平成31年4月1日～令和2年3月31日

以上